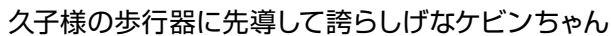




発行
さくらメディカル株式会社
〒943-0141 上越市子安 1378 番地
Tel (025) 522-3391
題字 杉 みき子
編集・協力 たかだ越書林



アニマルセラピー
—— 触れることで症状が快復！ ——

ケビンちゃんは、部屋の
中を元気いっぱい跳ね回
り、身体全体で大歓迎。事
前に話を聞いてはいました
が、想像以上の元気さとハ

以下、次頁へつづく

前頁から

言葉が出た。笑顔も…。ケビンちゃんが快復を運んだ。

ご長女夫婦の子供のような存在でもあるケビンちゃんとの生活がはじまった約3年前の久子様は、脳梗塞の後遺症によって言葉や手足に不自由さが残っていました。けれども毎日、「ケビン、こっち来い」や「ケビンかわいいね」「おはよう」とにかく話しかけたり、撫でていました。

このようなケビンちゃんとの生活により、少しずつ自分から話すことができるようになったり、手や腕の力も徐々についてきて、ケビンちゃんを抱けるほどになりました。

ご長女様は、「ケビンと一緒にいることで表情も良く、笑顔も多くなり、穏やかに過ごしている。以前は自分から話すということがほとんどなかったが、一緒



ケビンちゃんを愛おしく抱いて話すときは、目を潤ませてやさしい顔に

ここで久子様とケビンちゃんの仲良さぶりの場面をご紹介します。

目覚めを

喜んで教える

朝、久子様の寝室をそーっと覗き、久子様がまだ眠

っているとそーっと戻ってくる。一方、久子様が目覚めたのがわかれると喜んで寝室に駆け行って、ご長女様を呼びに戻ってくる。



沈着冷静、いつも周囲に気配り・目配り

トイレに付き添う

久子様が歩行器を使ってトイレに行かれるときは、久子様の後ろをついていきトイレが済むまで廊下で待っている。久子様と歩行器の間もお気に入りの場所の一つ。（1頁の写真参照）

小さな異変も

逃さない

久子様が咳やくしゃみをするとき心配してご長女様を呼びに来る（以前、吐血して体調をこわして救急車で搬送されたのを何回かジッと見ていたせいかな）

そばに寄り添う

久子様が具合の悪い時は側にいたり、布団の隅っこにいてまるで見守っているように離れない。車いすを使用するときは必ず久子様の上に乗る。

介護簡単メニュー

さくら餅風 `どら焼き、



近年にない大雪で記録的な豪雪となった今冬は、春がとても待ち遠しかったですね。

今回は春らしく、簡単にできるお菓子「さくら餅風どら焼き」です。ほんのりと塩味のするさくら餅風ですので、おやつにおすすめです。

作り方（4人分）

- ① ホットケーキの素100g、牛乳70cc、たまご1個、ゆかり（赤しその粉）大さじ1をボールに入れてかき混ぜます。
- ② 低糖の金時豆（1袋160g）2袋をフードプロセッサーにかけてペースト状にします（ちょうど桜色の餡になります）。
- ③ フライパンに適量のサラダ油をひいて、弱火であたため、①の生地をスプーンですくって楕円形に薄くのばして（厚さ5mm位とし、あまり薄くのばしすぎない）両面を焼きます。このとき焦げ目を少し付けるのがコツ。「美味しそうッ!」になります。
- ④ 少し冷ました生地の上に、②をスプーンですくってのせ、半分に折ってから餡をはさみます（餡は好みによって加減してください）。

高田訪問介護事業所 板倉寛子(介護食士)

参考になる工夫の紹介

久子様が使っている

① 静かですべりにくい歩行器：



歩行器の先端に注目！工夫が…

ご紹介しましたように、ケビンちゃんはいつも久子様を見守っていますが、一方で久子様も「ケビンを見守っているのが自分の役割の一つだと思っているかも

しれない」ご長女様談というように、お互いに一緒にいることで心の平安を得ているように感じられた、いつまでも心温まる余韻が残るような取材となりました。

屋内で歩行器を使用する際、脚が床に当たる時の音が気になる場合があります。

手先が器用なご長女様のご主人のアイデアで、テニスボールの上からゴム製のソフボールを被せて、静かですべりにくなりました。

② 温かくて転倒を予防する室内履き：

靴下では寒く、スリッパ



室内履きと電動リクライニングチェアで機嫌

③ ゆったりくつろげる電動リクライニングチェア：

家具ショップで発見したお気に入りの椅子。安定感があって身体全体をやさしく包んで支え、背を倒せば至福のひとつです。

④ ホームセンターで購入した丸棒の杖：



ホームセンター購入の丸棒2本で上手に歩行

歩行器を介護保険でレンタルする以前は、ホームセンターで購入した木製の丸棒二本に、消音とすべり止めのために試行錯誤のうえで、テニスボールの上からゴム製のソフトボールを半分に切って被せたもので上手に歩行。木のぬくもりと軽さ、長さとも太さが丁度いい加減。「歩行器が提案されなければ、『歩行器のようなもの』を手作りしようと思っていた」（ご長女様談）

直江津居宅介護支援事業所が上越市国府に移転

——愛（パワー）・思いやり・感謝の気持を忘れずに——



愛・思いやり・感謝の気持とチームワークを大切にし、ご自宅での生活を支えます！（一同）

上越ブロック通信 上越市（直江津地区）に 2番目の 事業所誕生

大雪に見舞われた2月17日、平成19年の開設以来約5年間、上越市春日新田で活動してきました直江津居宅介護支援事業所は、開設の地を離れ、車で10分ほどの国府4丁目へ移転しまし

た。百科事典による「国府」とは、「日本の奈良時代から平安時代に、令制国の国司が政務を執る施設が置かれた都市を指す」とあります。このような都市が上越市の「国府」の辺りあったと考えられ、この地名が付けられたようです。

周辺には、国分寺や居多神社（一宮）があり、歴史を身近に感じることができると、桜の花の景色の彩りがとても楽しみです。

春日新田でのご利用者やご家族の皆さま、お世話になった方々へ感謝しつつ、この新しい地でも引き続き

直江津居宅介護支援事業所
所長 宮川 玲

直江津東居宅介護支援事業所が上越市春日新田に開設

——モットーは「笑い」と「安らぎ」——

はじめまして、直江津東居宅介護支援事業所です。去る2月に上越市国府へ移転しました直江津居宅介護支援事業所の跡地（同春日新田）に、新たな事業所として、3月1日に開設しました。

どもあり、一度で覚えていただける場所です。当事業所は、甘いマスクの男性（？）と甘い声（？）の女性各1名計2名でスタートしました。二人とも「甘いものが大好き」で、介護に関する専門的な知識の他に、美味しいケーキやお菓子の話題も豊富です。

開設したばかりの小さな事業所ですが、今までの直江津居宅介護支援事業所が築いてきました信頼をしっかりと引き継いで、地域の皆さまが「笑い」と「安らぎ」を感じられる暮らしのお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

直江津東
居宅介護支援事業所
所長 堀川俊之



所長 堀川俊之 甘いマスク(右)と甘い声(左)のケアマネジャー

たんの吸引等が制度化 人材養成はじまる

去る1月26、27日の2日間、「新潟県介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修」が開催されました。

この研修の目的は、四月から始まる介護職員による「たんの吸引等の制度化」に向けて、介護職員が施設や在宅において必要なケアをより安全に提供するために、適切にたんの吸引等が行える人材を養成することです。

今回は初めての研修であったため、定員（50名）を大幅に上回る83名が受講しました。

今春の介護保険改正で運用はじまる

従来、たんの吸引や経管栄養は、医師や看護師だけが実施可能な医行為であることから、施設などで介護職員が行う場合は、「実質的違法性阻却」とされ、「違法な行為ではあるが当面はやむを得ない行為」として運用上の取り扱いで容認されてきました。

このことから、その行為は介護職員の業務とは認められず介護報酬の算定もできませんでした。一方で、万が一、事故が発生した場合、個人でその責任を負

うというとても不安定な運用でした。「医療と介護の連携」がポイントにもなっている今春の介護保険改正では、「一定の研修を受けた介護職員は、一定の条件下にてたんの吸引等が実施できる」となりました。これによって、今までの個人契約的な不安定さが解消され、事業者がしっかりと責任をも

うというとても不安定な運用でした。「医療と介護の連携」がポイントにもなっている今春の介護保険改正では、「一定の研修を受けた介護職員は、一定の条件下にてたんの吸引等が実施できる」となりました。これによって、今までの個人契約的な不安定さが解消され、事業者がしっかりと責任をも

介護職員による たんの吸引等 が可能に



研修を受講して
難病を患いながら
自宅で胃ろうによる
経管栄養を

—Aさんの場合

2日間の研修では、制度の概要を含めた重度障害児・者の地域生活に関する知識や病気の理解、たんの吸引と経管栄養の種類別による手順や注意点、緊急時の対応や危険防止に関する講義や、演習で実際にやってみることで具体的なイメージを掴むことができました。

より良い支援に専念
4月からは、難病の一つでもある筋萎縮性側索硬化症を患いながらもご自宅で過ごされておられるA様への胃ろうによる経管栄養を行うこととなり、A様に不安や負担を与えないようにと思うと重い責任を感じます。けれども、A様と介護されておられるご家族様へより良い支援をご提供することに専念し、A様がこれからも安心して、今までもどおりご自宅で穏やかに過ごしていただけるように最善を尽くしたいと考えています。

研修の内容は、基本研修（講義と演習）と筆記試験及び実地研修となっており、個別性の高い特定の対象者への実施を想定した研修です。

直江津訪問介護事業所
古川美由紀（介護福祉士）

なるほどッ! 介護リフォーム

第 1 回

「住宅改修」と「介護リフォーム」はどこが違うの?

福祉住環境チームが県内3拠点で展開

福祉住環境チームの出発

私たち「福祉住環境チーム」の出発点は、今から10年以上前、介護保険をご利用になってベッドをレンタルされておられるお客様のご自宅に、これまた、介護

足腰の負担を和らげる建築工事

一方、人間には誰でも加齢による足腰の筋力の衰えによって、歩行のふらつきやつまづき、転倒などの危険性が高まってきます。また、年齢を重ねることによって、今までは何も感

保険を利用し、手すりを取り付ける工事をさせていただいたことからでした。このような身体の状態が急激に変化して、さまざまな病気になるってしまう方々への工事は、応急処置的な「住宅改修」です。

じることなくできていたことが、少しずつ負担に感じられるようになります。このような負担を最小限にしながら、「住み慣れた家です。この事例では、「先を見越す」という視点から「介護リフォーム」をご提案しました。

家庭内で起きる事故

日本では毎年4万5千人の方が家庭内での事故のために介護が必要な状態になっています。そのようなことから昨今、気持ちも時間もゆとりのある時期に行う予防的な「介護リフォーム」は、緊急性の大きな応急的な「住宅改修」と同じくらい重要な性が高まっています。



住みよい環境づくりを

10年前にお客様の身体に寄り添う1本の手すりから出発し、今でもそのような

仕事にこだわりを持ち続ける私たちだからこそ、お客様の声をお聞きしながら何度でもご提案をし、一緒に住みよい環境づくりに取り組んでいます。

介護リフォームのご提案

お客様の困りごと、要望

第1回目となる今回は、車いすをご利用のお客様が「両親の介護負担を最小限にしたい!」と当社にご相談にいられた事例です。この事例では、「先を見越す」という視点から「介護リフォーム」をご提案しました。

お客様のプロフィール

ご本人52歳(車いす利用者、自分で操作可)とご両親(79歳(父)74歳(母))の3人暮らし

- ①母は足首骨折のため手術。介助は難しい。
- ②リハビリ中であるが、上腕骨折により体幹拘縮もあり、退院後の移動は車いす。
- ③車いすのため2階の寝室は使用出来ない。
- ④既存のトイレは入り口前が狭く、車いすの移動が難しい。
- ⑤室内の移動時、床に段差がある。また、外出時玄関の入り口がドアで狭く困難。

専門家が具体例をご紹介

今号から4回に分けて、私たち「福祉住環境コーディネーター」と「建築士」

介護リフォームの実施

(上記平面図の番号と左の写真の番号は同じです)

①玄関ポーチ階段手すりの取り付け



手すりを設置し転倒防止。母も使用

②屋外の段差解消



有効巾1000mmの引き戸を設け用具の搬入はもちろん、容態悪化の際の搬出、将来段差解消機設置を考慮

④寝室内にトイレを増設



障害者用便器設置。体を手すりに預ける

⑤寝室より直接屋外への出入りの可能なサッシの設置(場合により、段差解消機の設置)



入口引き戸-有効間口1000mm

①から⑤によって、ご自分の生活空間の「壁」を取り払うことで、ご両親にも負担の少ない生活空間が実現できました。

私たち福祉住環境チームは、新潟と長岡、上越の県内3拠点、総勢11名のスタッフで、介護や福祉に配慮した住みよい住環境をご提案させていただいています。お客様がいつまでも住み慣れたご自宅で暮らし続けながら、ご近所との絆が途切れることなく続きますように!そんな思いをカタチにしています。

生き物詩シリーズ5

詩 国見 修二(詩人・上越詩を読む会 妙高市)
絵 山本みゆき(子どもへの読み聞かせサークルでの活動 上越市)

はね馬

光の目覚まし時計
雪のベッドから大あくび
妙高山のはね馬は
抜け殻さ
うれしくて走りたくて
もう春の風の中に

